

伊那谷スケッチ

～自然と文化を巡るふるさと再発見～ 第25回



●写真キャプション

2015年10月13日取材

岡庭 一雄 さん（阿智村の御自宅にて）

JR 東海は南アルプス山岳トンネルの山梨県側のトンネル工事の着手を今年12月と公表した。長野県側の着手も今冬ともいわれているが、大鹿村リニア対策委員会の議論は今も続いている。

これまで大鹿村のリニア対策委員会では、JR 東海や中部電力から示されるデータはあるものの、「法的には問題がない」との理由で住民が抱える懸念が十分に議論されないまま計画が施行され、歯止めをかけられないのではという危惧をおぼえた。国の基準に適応すればすべては実施可能な事業になりうるのだろうか？そこに住む人たちに立場に立ってみれば違和感を感じずにはいられない。

大鹿村から車で90分あまり、愛知県境の下伊那郡阿智村ではリニア対策委員会とは別に生活者の目線での「リニア計画」を検証するための「社会環境アセ

メント」を行なう委員会が2015年5月より始動している。社会環境アセスメントの提案者であり、会長の岡庭一雄さんを訪ねた。

●本文

日本の公共事業の問題点

日本の公共事業（開発事業）の最大の欠陥は事業を進めることに対して国の基準に対し適応かどうかであるということを審査するのが基本だ。これは旧来の古い考え方だと考える。

戦後、日本は国が開発を行うことで経済発展を遂げてきた。その時代に考えられたアセスメントの考え方。それが依然として今日に残っている。しかし現在、世界的にみても地球環境の悪化が危惧されており生物多様性の保全が急務となっている。そんな社会情勢において開発行為自体を抑制することも含めて適当であるかどうか議論されなくてはいけない時代になっている。事業本体が及ぼす環境への影響もあるが、事業があることによって生活にどう影響するかが無視されている。

無視されていることがいちばん重要

「リニア計画」の工事については環境アセスメントを経て、国の着工認可がなされた。内容については様々な不備が指摘されているものの形としては法的手順を踏んできている。形式的にはリニアを中止させる法的手段は今のところ見当たらない。確かなことは「リニア計画」は生活に直面する問題として当面、行政も関わって取り組まなければいけない問題であること。リニア計画そのものが必要な開発なのか、という議論は別でやるべきだと考える。行政がらみで取り組むべき基本的な考えとして最重要事項はリニアの工事で犠牲を最小限に食い止めること。

リニアアレルギー

リニアについての「メリット」、「デメリット」といった項目はあがるものの、具体的なデータをつきあわせて議論がされていないのが事実。

飯田下伊那の全体的な状態として「リニア工事」で犠牲なる生活者としての目線で「犠牲を最小化するにはどうしたら良いか」と言葉にする人たちが「リニアに反対している」というレッテルを張られ、しゃべれなくなっている。

これは、過去の満州移民と同じ

住民が「主体的に物事を考えて決める」のではない、別のところで「計画」だけが進む。結局最終的には、国、県、村にだまされたということで禍根のみが残されるということになるのではないか――。

岡庭さんご自身は「リニア計画」について「リニア賛成 都合が良くなって良いと思う」と話す。

村長をやっていた時、東京の会議に出席するのに4時間かかる。宮崎県や北海道から来る人は岡庭さんより遅く起きて来るのだ。

ただ、リニアはコインの表裏をもつともいう。東京とこの地域が近くなるというのはいいことだと思うが、東京に近くなるというのは東京に従属することになる。東京にある情報をいかに取ってきて活用するかということになると、どっちがメリットかということになる。十分に議論がされなくてはいけない。本当のところはリニアがどうなのか分からない。莫大な経費、原子力2つ分のエネルギー、超大トンネルの安全性の問題。諸手を上げて賛成という訳にはいかないが、議論が不足していると感じる。議論なしでこのまま進むと、後々、問題がおこるのではないかと思っている。

「工事によって問題がおこる」という点において、大鹿村と阿智村が一番おこるのではないかと考える。

その理由は、根本的にとってきた「村づくり」に影響するからだ。

(次号へ続く)

「阿智村社会環境アセスメント委員会」

準備委員会を経て2015年5月スタート。諮問機関。委員19名。
村内の交通量調査、クロス集計(※)も踏まえた住民アンケート(16歳以上の全住民対象)、住民や観光業事業者へのヒアリング、観光客のアンケートなど実施。年度中の集計、シミュレーションをまとめる予定。民間側からの社会環境アセスメントは初めて。11月6日第2回の委員会が実施された。※地区ごとに集計することを「クロス集計」という。